

# 令和5年度第1回香川県水産審議会 議事録

- 1 日 時 令和5年6月1日(木) 13:30~15:00
- 2 場 所 香川県庁本館12階 第1・第2会議室
- 3 出席者 嶋野委員、高野委員、石原委員、椛島委員、中井委員、多田委員、持田委員、  
山本(久)委員、山本(啓)委員、青井委員、池田委員  
(欠席委員:山下委員、大平委員、山本(浩)委員、宮本委員)  
委員15名中11名が出席しており、香川県水産審議会条例第7条第2項の規定により、本審議会は成立。
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題  
水産審議会条例第7条第3項より、会長(嶋野委員)が会議の議長となり、議事進行を行った。

## (1) 香川県水産基本計画の進捗状況について

事務局より、資料に基づき香川県水産基本計画の進捗状況について説明。

委員: 藻場の整備を1.62ha行ったとのことだが、具体的にはどの海域か。

事務局: 令和4年度の藻場造成について、塩飽地区の丸亀市本島の北側、東讃地区のさぬき市津田、高松市の牟礼町で整備を進めている。津田については当初の計画部分は終わったので、牟礼の方の整備を進めているところである。

委員: 学校給食へのクロダイの提供について、具体的にはどのように提供されるのか。

事務局: 春先のクロダイは身に脂分が少ないのでパサパサしているが、すり身団子にし、味付けをすることで、給食の中の汁物等に入れる形で活用できないか検討をしている。

委員: 数字を調べたわけではないが、香川県ではハンバーガーを沢山食べるという話を聞いたことがある。香川県の人は、ハンバーガーチェーン店だけではなく、コンビニやスーパーでもハンバーガーをよく買っている。研究室の学生はハンバーガーを食べていることが多い。思い付きの意見だが、クロダイも、ハンバーガーにしてはどうかと思う。今年1月に私の母校である北海道大学がある函館に、行く用事があったのだが、函館では最近ハマチが多く獲れるようになったようで、街中では函館の新しい名物として「ハマチバーガー」を売っていた。

事務局: 新しい食べ方や、幅広い世代に手軽に食べてもらえるような方法を考えていかないといけないと思うので、ご意見を参考にさせていただき、検討したい。

委員: 給食の話が出たが、孫の給食の献立表を見ると、竜田揚げは冷凍の魚を使っている。給食には「鯛めし」も出てくるが、丸亀市で50年前からある「チヌめし」は出てこない。竜田揚げは、冷凍魚ではなく、クロダイを使うことで、もっとクロダイの単価を上げられると思う。南蛮漬けにしても、時期外れの単価の高いアジを使っているが、クロダイを使えば良いと思う。魚屋に行くと、クロダイはどんなに大きくても500円出せば買える。ハマチにしても、サワラにしても、お刺身一切れで70円程度にもなる。お刺身二切れと安い豚の豚カツの値段が同じである。食べ盛りの子供たちには、お刺身二切れではお腹の足しにはならない。多田先生がおっしゃるように、「ギョロツケ」がコープで販売されているが、ひき肉の代わりに魚のすり身を使用し、コロツケやハンバーグを作ってもいいのではないかと思う。魚が動いていない、循

環していないように思う。水産資源は減少し、後継者も減っている。海があれば魚が獲れるという時代は終わったのかと思う。今後、香川の豊かな水産資源が、食べられなくなるのではないかと心配している。

事務局：魚をどうやって増やしていくのかということを考えなければならないし、そういう海の変化を感じている漁業者の方々の話を聞き、知恵を出していく必要がある。また、学校給食については、ご存じのとおり、約3ヶ月前に献立が決まっている。そのような中で、給食で魚を使っていただくためには、栄養士の先生方や学校給食の流通業者の方々と相談し検討していく必要がある。地元の魚を食べてもらうための方策については、先ほど言われたように、500円のクロダイを家族みんなで食べて、お腹いっぱいになったら良いのだが、クロダイの場合、歩留まりが全体の3割ぐらいしかないということもあり、家庭でも、丸のままの魚の消費が減っているのだと考えている。地道な活動にはなるが、「おさかな一匹食べよう伝道師」のような活動を進めていくことで、そのような消費の拡大を図りたいと考えている。

## (2) 専門部会の開催状況について

イ) 高野委員より、栽培・養殖・流通部会の開催状況について報告。

「令和4年度種苗生産結果及び令和5年度種苗生産等計画(案)」、「令和5年度魚類養殖にかかる対応策(案)」、「令和4年度藻類養殖事業結果及び令和5年度藻類養殖事業計画(案)」について、原案のとおり承認された。

ロ) 青井委員より漁港・漁場整備部会の開催状況について報告。

「次期漁場整備における構造物(着底基質)の選定方法」、「次期漁場整備における構造物(着底基質)の調査方法」について、原案のとおり承認された。

ハ) 椛島委員より担い手対策部会の開催状況について報告。

「令和5年度漁業の担い手確保・育成関係事業の実施計画」について、原案のとおり承認された。また、香川県漁業士の認定について、認定要綱に基づき、指導漁業士候補者2名が「適格である」との回答を得て香川県漁業士に認定された。

## (3) 令和5年度水産関係予算について

事務局より、資料に基づき令和5年度水産関係予算の主な内容について説明。

委員：「ハマチ人工種苗養殖モデル事業」については、なかなか香川県では定着させるのが難しいと思う。人工種苗の引き取り手を考えないと、種苗を作るだけでは難しいと思う。香川県では1月になるとハマチを飼育できないので、11月には県外の温かい海へ搬送することを考えた上での事業にさせていただく必要がある。県内で種苗の引き取り手を探してもなかなか見あたらないので、そのあたりを種苗生産業者と話をさせていただければと思う。

事務局：本事業は、県内で種苗を作るというのではなく、県外で人工種苗を作っている業者がおられるので、香川県内でその人工種苗を活用した養殖モデルが構築できるのかを検討するものである。高野委員の言われるとおり、香川県では冬場には水温が下がるためハマチは飼育できないので、11月頃に愛媛や高知の方に避寒をしなければならない。モジャコはデリケートで水温が下がると餌食いが止まるといった話も聞いているので、そういうことも含めて、養殖業者や人工種苗を作っている方々と連携・相談しながら進めてまいりたい。

## (4) その他

事務局：委員の皆様におかれては、本年の7月9日で任期満了となっている。これまで、様々な水産施策や、水産業基本計画の策定など色々なご意見をいただき感謝を申し上げます。